

フィジーをたんけんしよう

氏名： 倉 さくら

学校名： 白山市立東明小学校

担当教科： 特別支援学級(自閉・情緒)

実践教科： 生活単元学習・道徳

時間数： 8時間

対象学年： 3・4年

人数： 4名

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）

- ・フィジーの学校生活，家庭生活を疑似体験させ，共通点，相違点について知り，考えさせる。
- ・食べ物や遊びなど，身近なものを通して，フィジーや世界に興味をもたせる。

【2】 単元の評価 規準例	(ア) 関心・意欲・態度	フィジーの子どもや生活，遊びに関心をもって，共感的な態度で，異文化への理解を深めようとしている。
	(イ) 思考・判断・表現	フィジーの伝統や文化のよさに気づき，大切にしている。
	(ウ) 技能	フィジーを身近に感じ，話し合いながら授業に参加したり，感想を書いたりすることができる。
	(エ) 知識・理解	フィジーと日本の共通点と相違点，フィジーにある日本に気づく。フィジーには，異なる伝統や文化があることを知っている。
【3】 単元設定の理由	【児童観】 自閉症・情緒特別支援学級には，3年生と4年生あわせて4人の児童が在籍している。彼らは一人でいたり，特定の子と遊んだりすることを好み，住む世界が限られているようにも思える。彼らにとって，さらにフィジーなどの外国は遠い世界である。発展途上国に生まれた子どもたちも，違う意味ではあるが，住む世界が限られている。	
✓ 児童/生徒観	3年A児：昆虫や鳥など生物分野に興味があるので，図鑑をよく読んでおり，生息している外国の名前に詳しい。自分の話したいことを話し続けたり，話の流れと違うことを発言したりすることがある。	
✓ 教材観	3年B児：ローマ字が得意なので，外国語に関心がある。食べることも好きで，料理の名前に詳しい。会話でのコミュニケーションは難しいが，問いかけと同じ言葉で答えたり，態度や短い言葉で表現したりすることができる。	
✓ 指導観	3年C児：いろいろなことに好奇心旺盛で，ニュースで見た海外の情報などを意味が分かっていなくても，話すことがある。全員の中では知識が多い方である。自分の思いを素直に話したり，他の児童の気持ちを想像したりできるので，発言が的確である。	
	4年D児：興味のある範囲が限られていて，外国にあまり関心がない。気持ちが落ち着いているときは，話の内容を理解して，自分の考えを話したり，他児童の気持ちを想像したりすることができる。	

【教材観】

本単元では、フィジーと日本の共通点や違いを比べながら、フィジーに興味関心をもつことをねらいとしている。まずは「異文化」に興味をもち、「同じ」「似ている」感覚から入り、「面白い!」「楽しい!」を主軸として展開し、子どもがフィジーという外国に興味をもつきっかけを作りたい。そのために、日常生活に身近なものから発展させたい。

子どもたちにとって、学校や食事など、生活に関係した内容は関心が高く、両国を比較する素材としてぴったりである。そこで、フィジーの子どもたちを身近に感じられるように教材を工夫する。そうすることで、見た目や言葉、文化が違った国でも、日本と同じように人々が集まり、生活しているということを理解することができるだろう。この学習を通して、世界への関心を高め、この世界には自分たちが当たり前だと思っている文化だけでなく、多様な文化があり、その中で生活をする人々が存在するを感じてもらい、それぞれの文化によさを感じ、異文化を受け入れる素地を養っていききたい。

【指導観】

実際に私が見てきたフィジーの学校の子どもたちの生き活きとした様子、ホームステイした村のあたたかさなど、多くのよいところを児童に伝えるために、環境作りを行い、教材教具に工夫をした。

まず、教室に地球儀と世界地図を置き、フィジーや世界を意識できる環境を作る。授業開始には、毎回「小さな世界」を歌い、学習する雰囲気作りをすることで、児童の気持ちの切り替えを促したいと考えた。

具体的な教材は、お菓子などの実物、フィジーの写真や映像など視覚的に分かりやすいものを使う。提示する題材は、食べ物や学校、家など生活に結び付けて学びやすいものにする。その際、クイズやゲーム形式にしたり、棒グラフで示したりすることで、彼らの理解を助けた。また、単元開始時に「フィジーたんけんパスポート」と題したスタンプカードを配付し、見通しをもって取り組めるようにした。

【4】展開計画（全8時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	<p><世界をたんけんしよう></p> <p>世界には国がたくさんあることに気づき、外国や次からの学習について関心をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間にフィジーのはがきを送っておく。 テーマソング「小さな世界」 たんけんパスポートをプレゼント。 「せかいのひとびと (P スピアー)」読み聞かせ。 知っている国を挙げて、Google earth で探す。(自宅の場所を確認後、世界の国の位置を調べる。) フィジーの基本情報をクイズする。(場所・人口・日本からの距離など) 写真1 フィジークイズ 	<ul style="list-style-type: none"> CD パワーポイント 絵本「せかいのひとびと」 フィジークイズ用紙
2 (本時)	<p><フィジーの家をたんけんしよう></p> <p>フィジーを身近に感じ、話し合いながら授業に参加できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> テーマソング「小さな世界」 写真と動画で説明。(村や家族の様子・家の構造など) あいさつゲームをする。(音楽がかかっている間は歩き回り、止まったらあいさつをする。) 写真2 あいさつゲーム タロイモチップスを食べる。 写真3 チップスクイズ 	<ul style="list-style-type: none"> CD パワーポイント 写真 タロイモチップス 写真、動画

3	<p><フィジーの服を着てみよう></p> <p>フィジーを身近に感じ、話し合いながら授業に参加できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマソング「小さな世界」 ・布を見せて、何に使うものかを考える。 ・スルを着ているフィジーの人々の写真紹介。 ・スルを一人ずつ着る。ペアを作って、着る役と写真を撮る役に分かれる。写真4 スル体験 資料 学級だより (スル体験) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スル ・スルチャンバ ・タブレット
4	<p><フィジーの学校をたんけんしよう></p> <p>日本とフィジーの学校や小学生の共通点と相違点, いいところ, フィジーにある日本に気づく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にフィジーの小学生にとってアンケートと同じ内容のアンケートをして集計しておく。(質問項目…好きな食べ物・動物・スポーツ・科目・将来の夢など) ・アンケート結果を棒グラフにし, パワーポイントを使って, ランキング形式でフィジーと日本を交互に発表する。自作 PPT 資料1 フィジーの小学生とにている?ちがう? ・写真や動画で説明 (写真を見せて同じところ・違うところを見つけたり, いいところを探したりする。) ・フィジーで見つけた日本紹介。(日本料理・日本車など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・CD ・アンケート ・パワーポイント ・写真 ・写真, 動画 ・フィジーの教科書
5~6	<p><フィジーの台所をたんけんしよう>調理実習</p> <p>フィジーの料理を身近に感じ, 料理を作ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭室で実施。 ・フィジー料理を作る。(ロティ・レトルトカレー・バナナ) ・砂糖の多い紅茶を体験。 ・カヴァ (モノランゲージ) ・たらいを使って, 限られた水での皿洗いをする。資料2 ロティ作りふりかえり 資料3 ロティ作りの学級だより 	<ul style="list-style-type: none"> ・CD ・ロティの材料 ・紅茶 (砂糖多めに用意) ・たらい3つ (皿洗い用)
7	<p><世界のごはんをたんけんしよう>道徳 (国際理解)</p> <p>世界の国の食生活に関心をもつこと。今後も世界の様々な国について関心をもっていこうとすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマソング「小さな世界」 ・事前に, 自分の家の食べ物を調べる宿題を出しておく。 ・自分の家にあった食べ物を発表。 ・国当てクイズ (「地球の食卓」から抜粋した4か国とフィジーの写真を見て, 国名を選ぶ。) ・第3位までのランキングをそれぞれが考えて発表する。①1週間住みたい国②家族が仲良しの国 資料3 地球の食卓ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・CD ・「地球の食卓」 ・アメリカ・チャド・中国・インド・フィジーの食卓の拡大写真
8	<p><フィジーをたんけんしてどうだったかな></p> <p>フィジーを身近に感じ, 話し合いながら感想を書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマソング「小さな世界」 ・これまでの写真を見る。 ・ふりかえりを書く。資料4 フィジー全体ふりかえり 	<ul style="list-style-type: none"> ・CD ・パワーポイント ・ふりかえり用紙

【5】 本時の展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
------	------	--------------	---------

<p>導入 (5分)</p>	<p>1. テーマソング ○「小さな世界」を歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担任が、スルチャンバを着たり、歌を歌ったりすることで、フィジーの学習が始まる雰囲気作りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スルチャンバ ・CD
<p>展開 (30分)</p>	<p>2. フィジーの生活をクイズで体験 ○「世界のあいさつ」の読み聞かせをして、各国のあいさつを紹介。フィジーのあいさつや人種について補足説明をする。</p> <p>○あいさつゲームをする。</p> <p>○このお菓子は、何でできているかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本「世界のあいさつ」(長新太著)を読み聞かせする。 ・あいさつゲームのルール ①音楽の間、教室を自由に動く。 ②音楽を止めた人が、国の名前を言う。言われた国のあいさつを近くの人とする。 フィジー…「ブラ！」と言い合う。 モンゴル族…だきあってにおいをかぐ。 ニュージーランド マオリ族…舌を出す。 ・音楽を聞いて、体でリズムを感じながら楽しむ。 ・タロイモチップスを食べてみて、材料が何かを考える。その際、タロイモ、さつまいも、じゃがいもの写真を見せて、その中から選ぶ。 ・正解発表後、ホームステイしたときの写真を見せながら、食文化の補足説明をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本「世界のあいさつ」 ・“We Are Fiji” (フィジーの国歌をポップスにアレンジした曲)のCD ・あいさつを絵や写真で示したカード ・タロイモチップス ・写真
<p>まとめ (15分)</p>	<p>3. まとめ ○フィジーのいいところを発表。パスポートにシールを貼る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが、今日見つけたフィジーのいいところを発表する。 ・フィジーパスポートにシールを貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィジーたんけんパスポート
<p>【授業実践の様子】</p>			



写真5 「世界のあいさつ」読み聞かせ



写真6 音楽に合わせて、あいさつゲーム



写真7 タロイモについて説明



写真8 本時の板書

【6】本時の振り返り

実践した10月12日は、授業参観だったため、4人の児童全員の保護者も参加することができた。授業参観を通して、保護者にも伝えられることができるよい機会となった。

導入で毎回歌うようにした「小さな世界」の間奏には、世界中の音楽の要素が含まれており、今から外国の学習が始まるという教室の雰囲気作りができた。保護者からは、歌詞を改めて聞くと「『世界はせまい』というフレーズがあり、「世界は広い」だと思っていたため驚いた。」という意見があった。

本時の主要な活動は、あいさつゲームとフィジークイズの2つであった。あいさつゲームは、世界中の様々なあいさつをわかりやすい挿絵で紹介している絵本「世界のあいさつ」を読み聞かせた。最初から最後まで読むと長いので、こちらが選んだ国を中心に読み聞かせた。絵本にフィジーは載っていないので、読み聞かせ後、フィジーにはフィジー系、インド系、中国系の人々が暮らしていること、言語はフィジー語と英語が話されていることを、ホームステイ先のフィジー系の家族の写真、訪問したインド系の小学校の写真を見せながら説明した。

その後、取り組んだあいさつゲームは、体を動かすことが好きな児童が多いので、保護者を交えて、教室中を動き回って楽しくやることができた。モンゴル族の抱きしめ合う挨拶を保護者としている児童は、恥ずかしそうな子もいたが、とても嬉しそうだった。あいさつゲームの時に、流した「We Are Fiji」という曲は、フィジー訪問時に会った高野勝郎隊員に教えていただいた、フィジーで人気の音楽である。外国の音楽を実際に耳や体で感じられるよい経験になった。

次のフィジークイズは、チップスの材料とスルの使い方を当てるクイズ2問を予定していたが、タイムマネジメントが十分でなく、1問しかすることができなかった。クイズは、袋を見えないようにしてチップスを児童や保護者に食べてもらったところ、最初は普段食べているポテトチップスと違うため、恐る恐る食べていたが、口々に感想を言い合いながら楽しく体験できた。食べた後は、3択クイズにして、フィジーで実際に食べたゆでたタロイモとキャッサバ、児童が1学期に育てた経験のあるじゃがいもを候補に入れたところ、一生懸命考えていた。正解発表後にホームステイで食べた食事や、調理方法を写真や動画で見せたところ、席から立ち上がって近くで見たがる児童がいたほど興味関心を示した。全体の場面を通して、児童に興味関心をもたせるためには、実物、写真や動画などの有効性を感じた。

【7】単元を通した児童生徒の反応/変化

全体を通して、全員が意欲的にフィジーの学習に取り組めた。第1時が終わったあとに、C児は家にあった「はじめての国旗えほん」を持ってきてくれた。フィジーを含めた興味のある国のページに、姉に付箋をつけてもらっていた。世界に目を向け、興味が広がったことが分かる。

特に、C児とD児の素直さに驚かされることが多かった。例えば、カヴァの慣習について話した際、断りづらくて何回も飲んだとD児に話すと、「そういうことは言った方がいいよ。言わなきゃだめだよ。」と自分の気持ちを表現する大切さを伝えてきた。また、調理実習で、普段食べているものとはにおいや見た目が違うカレーを準備したところ、躊躇して食べない児童もいたが、C児はぱくぱく食べて、すぐに異文化に適応していた。また、水資源の大切さを学んだ。本学級では、調理実習を何度もしているため、水道を使った皿洗いを経験していた。そのため、水の量を制限してやると、他の児童は「フィジーのやり方がやだです。(A児)」「めんどくさい。水道水を使った方がいい。(C児)」と不自由を感じていたが、一方「たらいで水をお皿あらいでキレイでタオルでふきふきしました。楽しかったです。(B児)」「たらいをつかうのがおもしろかったです。水をためるのが好きだからです。(D児)」と、水がない状況を楽しんでいることが伝わってきた。彼らにはどうしても譲れないこだわりといわれる価値観もあるが、先入観や差別のない彼らの方が異文化と共生できるのかもしれないと感じた。

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

第7時で、「地球の食卓」を使って国際理解の授業を行った。5か国の写真を最初にクイズで提示した。先進国の例としてアメリカと中国、開発途上国としてチャドとフィジー、インドは前時にインド料理を作ったので、候補に入れた。食べ物が多く載っている写真を児童は興味津々に見つめ、アメリカには黒人がいることや、中国人に顔が似ていることなどを発言していた。中国の説明をしたときに、「知ってるよ！〇〇のお母さん、中国人やもん。」とA児がつぶやいた。フィジーのように遠い国を異文化と思いがちだが、自分の身近なところにも異文化があることに気づけていた。

児童には、「1週間住みたい国」と「家族が仲良しの国」のランキングを考えさせた結果、児童の多くが物質的な豊かさを魅力的に感じている印象を受けた。「1週間住みたい国」のランキングは、4人中3人がアメリカを一位に選んだ。理由は「マックや缶が多いし、アメリカは金持ちだから。」「ポテトを死ぬほど食べたい。」と、物の多さを理由に挙げていた。同時期に、学校で児童会によるユニセフ募金が行われ、アフリカの飢餓の印象が強かったことも、ランキングに影響したと考えられる。次に、「家族仲がいい国」のランキングを考えたときは、意見が分かれた。普段あまり自分の意見を言わないB児が、他の意見に流されず、「フィジーは、えがおでなかよくしている。」と発表したことが、今までの授業でのフィジーの様子を、彼に伝わっていたようで嬉しかった。

【途上国・異文化への意識の変容について】

(授業前)

あまり外国の話題が出ることは少なく、外国について聞く言葉の多くは、「ミサイル」「北朝鮮」など、よく理解せずに否定的に言っているものが多かった。さまざまなニュースが世の中にあふれているなか、海外ニュースの割合が少ないことや、否定的な内容が多いからかもしれない。研修出発前に、フィジーの場所を地球儀で教えたときは、全員がフィジーを知らなかったので「遠い！」と素直に驚いていた。

(授業後)

単元が始まってから、教室にフィジーの場所にシールを貼った地球儀を一つ置いておいた。すると、始めはくるくる回しているだけだったが、単元が進むにつれて、他の教科でも地球儀を使いたがるようになった。例えば、国語の授業で「3年とうげ」を勉強したときに韓国を調べようとしたり、A 児は好きな昆虫の生息場所を説明するときに地球儀を使ったりするようになった。C 児は、北朝鮮に対して知っている言葉を言っていただけだったが、場所や情勢について私に質問するようになった。単元の最後は、全員が異なった「行きたい国」をそれぞれ挙げていた。

さらに、保護者から嬉しい反応が2つあった。一つは、授業参観後の連絡帳に「しきりに、B 児が『行きたーい！』と言うので、連れていける気は全くしませんが、どこかわからなかったので検索してみました。勝手に発展途上国なのかな？と思いましたが、そうではないのですね？子どもたちは興味をもって授業を聞いているように感じました。楽しそうでした。」と書いてあった。そこで、フィジーが途上国の中でも中進国であることなどを伝えることができた。児童に教えるには難しいことも、保護者の方に伝えられたことがとても嬉しかった。また、ロティとカレーがおいしくて、感想文に「おいしかった。インド系になりたい。」と書いたA 児の保護者からは、インド料理店に行ったことを聞いた。ロティを作ったこと、授業で扱った肥満の問題について家族に話し、「ナン（ロティに似ている）も食べたい。」と母親に言い、家族で食べに行ったことを聞いた。確実に、外国に興味をもち世界が広がったことを感じ、嬉しく思う。

【8】自己評価

1. 苦労した点	<p>本単元では、フィジーの開発途上国の部分についての伝え方に気をつけた。安易に伝えると、フィジーを下に見るような危険性があると思ったからだ。砂糖の取りすぎなど食事の影響による肥満の問題や、皿洗いを通して水の大切さを伝えた。実際に実習では、紅茶を飲んだだけで太ると勘違いして、準備した紅茶に口をつけない子がいたが、砂糖を入れすぎることが健康によくないと伝えた。そのため、彼らの成長に合わせて、途上国の抱えている問題や日本がフィジーにどのような支援をしているかなどを、3学期に本単元を設定し、伝えたいと考えている。</p> <p>フィジーを「たんけん」しようという言い方にしたことで、実際にフィジーに行けるとD 児に勘違いさせてしまったことがあった。フィジーは遠くてお金がかかることなど、行けない理由をD 児に説明したとき、「行けないなら勉強する意味がない。」とやる気をなくしたことが一度あった。代わりに私が行ったことを一生懸命伝えると、ようやく納得してくれたが、特別支援学級の児童に伝える難しさを感じた。</p>
2. 改善点	<p>今年度は特別支援学級の生活単元学習の実践だったが、今後通常学級で実践するための改善点は2つある。</p> <p>一つ目は、単元計画をしっかりと立て、総合的な学習などの領域に位置付けるこ</p>

	<p>とである。ねらいをもち、時数の確保をしていかねばならない。</p> <p>二つ目は、学年で実施できる内容に変えることだ。教師海外研修を経験した教員だけができる内容だと、学年全体で取り組むことができない。フィジーについての写真や授業内容を記録しておくこともできるが、フィジー以外の外国でも同じような内容ができると思う。例えば、ALTの先生と連携し、欧米の生活の様子を知ったり、実際の食品を手に入れたりすることもできる可能性がある。留学生や国際交流員の方をゲストティーチャーに呼んで、数か国提示し、自分の興味がある国を選んでもいいかもしれない。</p>
3. 成果が出た点	<p>今年度は、特別支援学級だからこそ成果が出たことが多くあったのは、生活単元学習の存在と学級の人数の少なさが理由である。タロイモチップスを食べることや民族衣装の体験、調理実習の作業など、少ない人数だからこそ、児童が体験的な活動を多くすることができた。また、学級だよりを書くことで、児童だけでなく保護者にも開発教育について理解していただけたことがよかった。資料1・3 学級だより</p>
4. 備考（授業者による自由記述）	<p>フィジーの単元を始めるにあたって、テーマソングを「小さな世界 It's a small world (訳 岩谷和子)」にした。曲を探すときに、同じメロディで「子どもの世界 (訳 小野崎孝輔)」という別の歌詞があることを知った。ただ歌詞が、前者は「世界はせまい 世界はおなじ 世界は丸い ただひとつ」とあるのに対して、後者は「すてきな世界 すてきな世界 すてきな世界 子どもの世界」となっている。原曲の同じ部分は、「It's a small world after all」の繰り返しだったので、学習のねらいに合わせて、私は「小さな世界」を選んだが、「子どもの世界」の方は、4年生の音楽の教科書にも載っている。訳によって伝わる印象の違いを面白く感じた。</p>

【添付資料】

- ・資料2 学級だより（スル体験）
- ・資料3 ロティ作りのふりかえり
- ・資料4 学級だより（ロティ作り）
- ・資料5 地球の食卓ワークシート
- ・資料6 フィジー全体ふりかえり

【参考資料】

- ・Pスピーアー(1982)『せかいのひとびと』評論社
- ・長新太(1981)『世界のあいさつ』福音館書店
- ・Wise100doors『We are Fiji (feat. Suzy Vulaca)』
- ・ピーターメンツェル・フェイスダルージオ(2006)『地球の食卓』TOTO 出版
- ・JICA 地球ひろば (<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/case/index.html>)